

# 平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業情報処理	単位数	3	履修学年・クラス	1C
担当者	農業情報処理 新訂版(実教出版)						
学習目標	○社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させる。 ○情報に関する知識と技術を習得させる。 ○農業情報および環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。						
学習方法	○講義では、情報が身近な生活や農業の各分野でどのように利用されているか学ぶ。 ○実技では、情報活用への関心を高め、アプリケーションソフトによるコンピュータ操作の技能習得を図る。 ○情報利用への意欲を高めるため、目標を設定した資格・検定への取り組みを図る。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	情報を収集、処理および活用するに関心をもち、その習得を目指して意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。				
	技	技能	基礎的な技能を身につけ、課題を合理的に計画し適切に処理する力を身につけている。				
	知	知識・理解	指導内容に関する基礎的な知識を身につけ、情報の意義や役割を理解している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	○生活と農業の情報化	1 私たちの生活と情報 2 情報化社会のモラルとセキュリティ 3 農業を支える情報 4 これからの学習にむけて	○	○	○	○	[関]情報化社会のしくみや農業各分野の情報化に関心をもち、農業の情報化やその発展に関する課題について探求しようとしている。 [思]農業各分野の発展に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な意識と技術を基に合理的に判断している。 [技]農業各分野の情報化に関する資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 [知]農業各分野の情報化や農業の発展に関する知識を身につけ、情報の収集、処理および活用の重要性を理解している。	・授業観察 ・レポート ・考査
	○情報の基礎	1 コンピュータと情報処理 2 コンピュータのしくみと活用 3 情報通信ネットワークのしくみ	○	○	○	○		
前期末	○コンピュータによる情報の活用	1 インターネットを利用した情報収集 2 ソフトウェアと情報の活用 3 日本語ワードプロセッサの利用 4 表計算ソフトウェアの利用	○	○	○	○	[関]農業各分野で情報を処理・活用するための基本的なソフトウェアに関心をもち、情報の収集、分析、統合、加工、発信に関する課題について探求しようとしている。 [思]諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断している。 [技]ソフトウェアに関する技術を身につけ、情報の収集、分析、統合、加工、発信について適切に選択し活用している。 [知]情報を処理、活用するためのソフトウェアに関する知識を身につけOSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解している。	・授業観察 ・レポート ・考査
	後期中間	5 データベースソフトウェアの利用 6 図形処理ソフトウェアの利用 7 プレゼンテーションソフトウェアの利用	○	○	○	○		
後期末		8 Webページの作成 9 プロジェクト学習のまとめ	○	○	○	○	[関]農業のプロジェクト学習に関心をもち、学習の課題設定から評価までの4段階の学習に意欲的に取り組むとともに、その課題について探求しようとしている。 [思]諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断している。 [技]農業学習の課題を解決するための情報処理技術を身につけ、学習の各段階で、記録、整理、発信について適切に選択し活用している。 [知]課題を解決するための基本的な知識を身につけ、情報技術を効果的に活用して情報発信する重要性を理解している。	・授業観察 ・レポート ・考査